

太陽と子供 酒見直子

（弱きを覚悟して あなたは生まれたのだと思う）
彼ほかつての子供です
子供が泣くとき子供であることを許されなかったのだから...

戦闘士（よもつしこめ）は、小島きみ子

令和二年五月二五日緊急事態宣言は解除されて、（したたる）
（薔薇文字の花びら降りしきり）
火の國の子どもが生まれた日、父の記念日、母の記念日...

オセロ・ライフ 二条千河

始まりはいっだって
目もくらむほどに鮮やかな緑の平原
その均等に区画された戦場にひしめいて
わたしたち 一歩も外へ踏み出せない

名のあるものたち 海埜今日子

草にとつて、わたしは存在しない。よく通る小径、潤れがちな小川に沿って。あちこちにエノコログサがふわふわと。小さな穂が、空き地や路傍で。ねばつく風、かわいた土空にむかつて伸びている。

ハルジオンの人とヒメジョオンの人と 久野雅幸

いい風が吹いてきた
ほんとうね こころよくからだをゆさぶつてくれる
この風なら 何をまかせてもよいと感じる
わたしね あなたのまつすぐな性格と芯の強さがうらやましい

タイムライン 平井達也

タイムラインは流れを止めないから
ときどき あつ と思うのだけれど
ほとんどの浮遊物の色やかたちは
つきりとは確認できないまま視界から消えてしまうよ

（さてボゴタの黄色よ）ほか たなかあきみつ

（さてボゴタの黄色よ）
さてボゴタの黄色よ、米倉涼子の過剰なミモザ色のチュニクよ、
ゆうやく延伸する二等辺三角形の刃先よ
砂利はむ無水酢酸キーファー印は滞りなく
ほらブリキのドラム漉のぎらり暗黄色の矢印、黒沢清映画の

ガジュマル 池田 康

ガジュマルは夢を見る
虚構の故郷の
まどろみのみんなの……
北風吹きすすさぶ中
半ばの葉を黄色にして

ガジュマルは夢
誰が見ているという疑問
の「誰」を探す旅
どちらが根でどちらが梢かわからなくなる



（さてボゴタの黄色よ）
さてボゴタの黄色よ、米倉涼子の過剰なミモザ色のチュニクよ、
ゆうやく延伸する二等辺三角形の刃先よ
砂利はむ無水酢酸キーファー印は滞りなく
ほらブリキのドラム漉のぎらり暗黄色の矢印、黒沢清映画の



グレイゾーンもグラディションも存在しない
向かい合う二人の行き着くところも結局は白か黒
そのあくまでフェアでピュアな二分法から
わたしたち 一歩も前へ進まない

